

令和4年6月7日

体の動きを高める部会記録

会場：北区立滝野川第五小学校

記録：大田区立嶺町小学校

鈴木義実

第3回体の動きを高める運動領域部会記録

参加者 （常任理事）高草木先生 佐藤先生

畠中 岡田 山本 宮内 藤井 濱須 大川 満山 興水 吉池 東 古川 高岡 戸澤
土屋 坪根 鈴木

1 部会について（畠中部長）

○研究3年目

- 1年目：学習課題について
- 2年目：課題解決について
- 3年目：自己評価について

○体の動きを高める運動について

- 1・2年 多様な動きを作る運動遊び
- 3・4年 多様な動きを作る運動
- 5・6年 体の動きを高める運動

⇒体力の向上を直接的なねらいとする／ねらいをもって運動に取り組む

◎楽しむ・工夫する・自分に合った運動を選ぶ

- ・一人一人の学習課題を見出す ⇒ マイスタート・マイゴール オープンエンドな学習
- ・学習課題の捉え ⇒ 問いを解決する方法
- ・教師主導から子ども主体の授業へ：子どもが問いを探し、解決していく。⇒学び方を身につける

- ・学習過程の考え方

（第5学年）

学習課題を見出す → 学び方を知り学習課題を解決する → 体の動きを高める

（第6学年）

見通しをもつ → 学習課題を見出す → 自己の学びを修正・活用 → さらに学びを修正・活用

- ・教師の働きかけ

①子どもが考えること ②教師が教えること ③教師が支援すること

- ・運動例について

- ①工夫の善し悪しがわかりやすい
- ②高まる動きが明確
- ③運動の楽しさを味わえる
- ④高まりの実感がしやすい

2 「体の動きを高める運動」における自己評価の捉えについて

《グループ協議》どのように考えているのか・何を大切にしているのか

グループ	捉え	大切にすること
A		・必要感をもって主体的に行う ・自分が高めようとする課題につながっていること ・動きの高まりや達成感を味わうこと ・客観すること（メタ認知） ・他者評価
B	自分の目標を達成するための自己評価	・子ども自身が必要感をもっていること →手立てに組み込めると良い ※どのようにすれば必要感がもてるか ・楽しみたい→目的をもつ に思考が変容することが大切
C	・高めたい動きを見つけ、取り組みたい場や取組を選び、運動の仕方や課題について自ら評価しよう（振り返ろう）とする活動 →（何を振り返る？） 学習課題／取り組み方	・主体性をもって活動する ・運動を選ぶ力

《各グループの発表を受けて》

- ・「自ら」振り返ろうとする活動 ＝ 必要感をもつ
（手立て）→学習カードのしかけ（問いマップ／ロードマップ）・運動中のしかけ
※昨年度までの手立てが活かせるものもあるのではないかな。
- ・学習課題の見出し方が重要である。（課題が見いだせていたら、必要感をもって振り返るようになる）

3 実証授業1に向けて（岡田）

《今後の日程》

- 6／7 （火）専門委員会
- 6／13（月）の週にオンライン部会（指導案検討1）
- 6／16（木）正副部長会
- 6／20（月）専門委員会（指導案検討2）
- 6／27（月）～ zoom・府中第六 各1回ずつ
- 7／4 （火）～8（金）で実証授業

《指導案について》

- ・自己評価に限定して記載
- ・原則、部長、副部長で作成

4 常任理事の先生より

高草木先生より

2年間コロナの影響を受け、研究も縮小傾向にある。学校外に出るのも難しいが、その中で、仲間を集めて研究を進めていることが素晴らしい。他の部会に興味がある人がいれば、その部会を紹介し、小体研全体を盛り上げていければと思う。

佐藤先生より

1学期もあと1ヶ月。諸帳簿提出などもあり、多忙になってくる。今日はzoomの参加者もいるが、できれば、顔を出して参加してほしい。実証授業1まで頑張りましょう。